

神奈川県 商工会地区

中小企業景況調査報告書

ー令和8年1月～3月期 実績ー
 ー令和8年4月～6月期 見通しー



神奈川県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査(令和8年1月～3月期)

◇調査概要

1. 調査目的

商工会地区内の地域産業の状況、経済動向等について一定期間ごとに変化の実態や諸事情を把握し、経営改善普及事業の効果的实施を図る。

2. 調査対象

(1)対象地区 10商工会地区
(葉山町・伊勢原市・大磯町・湯河原町・座間市・愛甲・南足柄市・足柄上・城山・相模湖)

(2)対象企業数 150企業

(3)回答企業数 150企業(回答率100.0%)

3. 調査対象期間

令和8年1月～3月期(調査時点 令和8年3月1日)

4. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区の決定は、商工会地区市町村の人口規模別実態を勘案し、調査対象企業の抽出は、業種、規模等有意選出法による。

5. 対象地区別回答企業数内訳

商工会名	製造業	建設業	小売業	サービス業	調査企業数
葉山町商工会	3	2	3	7	15
伊勢原市商工会	3	2	2	8	15
大磯町商工会	3	2	4	6	15
湯河原町商工会	3	2	4	6	15
座間市商工会	3	2	4	6	15
愛甲商工会	3	2	4	6	15
南足柄市商工会	3	1	6	5	15
足柄上商工会	3	3	4	5	15
城山商工会	3	2	4	6	15
相模湖商工会	1	3	3	8	15
合 計	28	21	38	63	150

6. DIとは

本報告書の中で一部数字に用いた「DI」指数とは、ディフュージョンインデックス(景気動向指数)の略で、企業経営者の景気見通しを表す指標として利用されている。

増加(上昇、好転、長期化)と減少(低下、悪化、短期化)の企業割合の差を示す。

DIがプラス(+)なら……強気(楽観)

DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)

(例)売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合のDI指数

DI指数・・・50%－20%＝30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

◇業種別（中分類）企業構成

(1)製造業

業種内訳	企業数	構成比
食料品製造業	3	10.7%
飲料・飼料・たばこ製造業	0	0.0%
繊維工業	0	0.0%
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.6%
木材・木製品製造業	1	3.6%
家具・装備品製造業	3	10.7%
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	7.1%
印刷・同関連業	1	3.6%
化学工業	1	3.6%
プラスチック製品製造業	1	3.6%
窯業・土石製品製造業	1	3.6%
金属製品製造業	6	21.4%
一般機械器具製造業	1	3.6%
電気機械器具製造業	1	3.6%
輸送用機械器具製造業	2	7.1%
精密機械器具製造業	1	3.6%
その他製造業	3	10.7%
合 計	28	100.0%

(2)建設業

業種内訳	企業数	構成比
総合工事業	9	42.9%
職別工事業	10	47.6%
設備工事業	2	9.5%
合 計	21	100.0%

(3)小売業

業種内訳	企業数	構成比
各種商品小売業	1	2.6%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	13.2%
飲食料品小売業	19	50.0%
自動車・自転車小売業	4	10.5%
家具・建具・じゅう器小売業	0	0.0%
その他小売業	9	23.7%
合 計	38	100.0%

(4)サービス業

業種内訳	企業数	構成比
一般飲食店（一般・遊興）	22	34.9%
宿泊業	1	1.6%
運送業	1	1.6%
自動車整備業	6	9.5%
洗濯・理美容業	21	33.3%
その他のサービス業	12	19.0%
合 計	63	100.0%

◇産業全体の景況概要

◇…前期の悪化から一転、全業種で回復した小規模企業景況…◇

神奈川県における各産業別の前年同期と比べた業況DIの推移は、【産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移】に示すとおりである。

【業種別景況天気図】をみると、令和8年1-3月期は全業種改善しており、特に小売業は大幅な持ち直しを見せました。

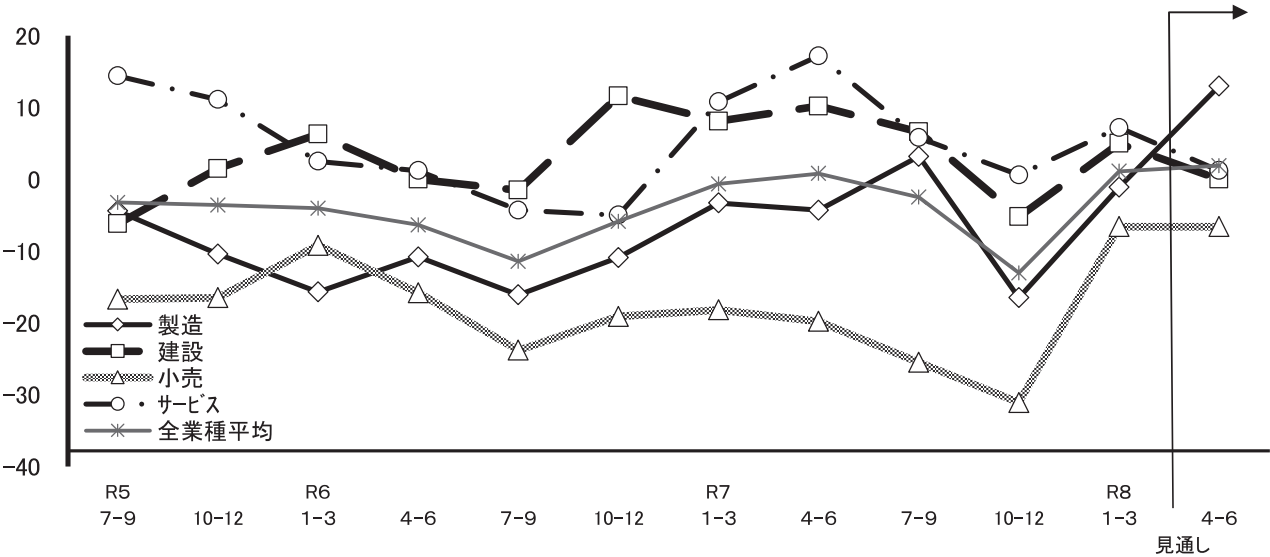
業況判断DIは、小売業は25 ptに迫る改善となり、製造業は15.4pt、建設業は10.2ptと10 pt超となり、サービス業は6.6ptと4業種とも大幅な改善となった。

全業種平均では、前期マイナス13.1ptから1.1ptと15 ptに迫る改善となり、前期の大幅な悪化から顕著な回復を遂げました。

一部の業種では、季節需要や受注の増加により売り上げが好転している。

だが依然として、人手不足や仕入れ価格の上昇スピードに、価格転嫁が十分に追いつかない等の声も寄せられている。コスト増と金利上昇により、先行きの売り上げと資金繰りを不安視する声が目立った。また、ホルムズ海峡封鎖に伴う原油高の高騰が懸念されており、今後の動向を注視する必要がある。

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(令和5年7-9月期～令和8年1-3月期)



業種別景況天気図

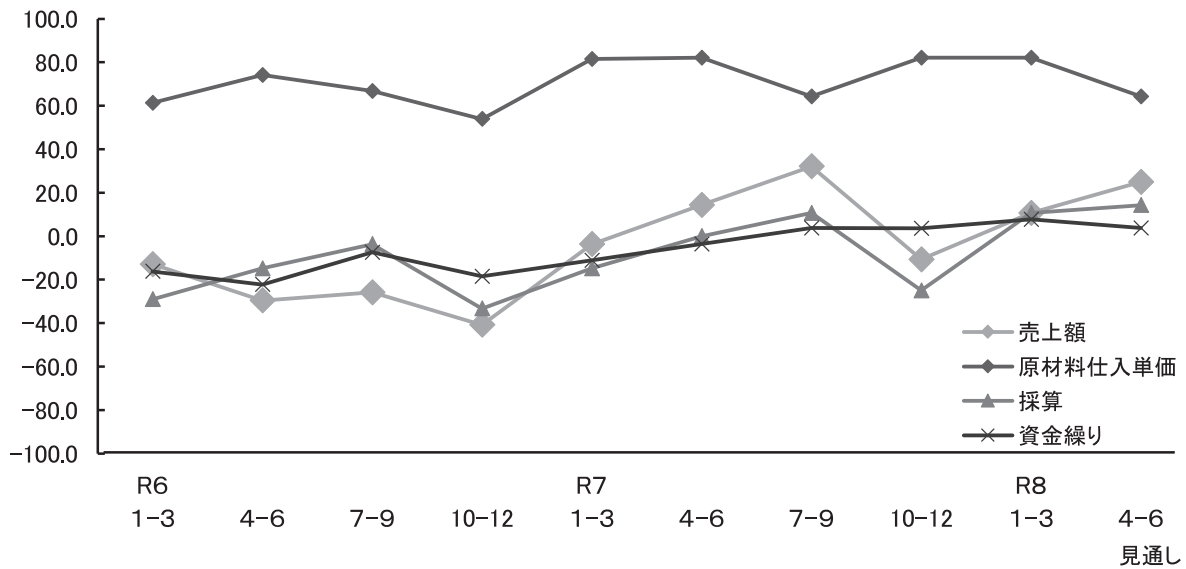
	製 造 業 28 企業		建 設 業 21 企業		小 売 業 38 企業		サービス業 63 企業		全業種 平均
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
R7/4-6	△ 4.3		10.2		△ 19.8		17.2		0.8
R7/7-9	3.2		6.6		△ 25.5		5.8		△ 2.5
R7/10-12	△ 16.5		△ 5.2		△ 31.1		0.6		△ 13.1
R8/1-3	△ 1.1		5.0		△ 6.6		7.2		1.1
R8/4-6 (見通し)	13.0		0.0		△ 6.6		1.2		1.9

DI: 30.1～.....
DI: 10.1～30.0.....
DI: 10.0～△10.0...
DI: △10.1～△30.0
DI: △30.1～.....

◇業種別景況概

I 製造業

主要景況項目の推移ー前年同期比ー

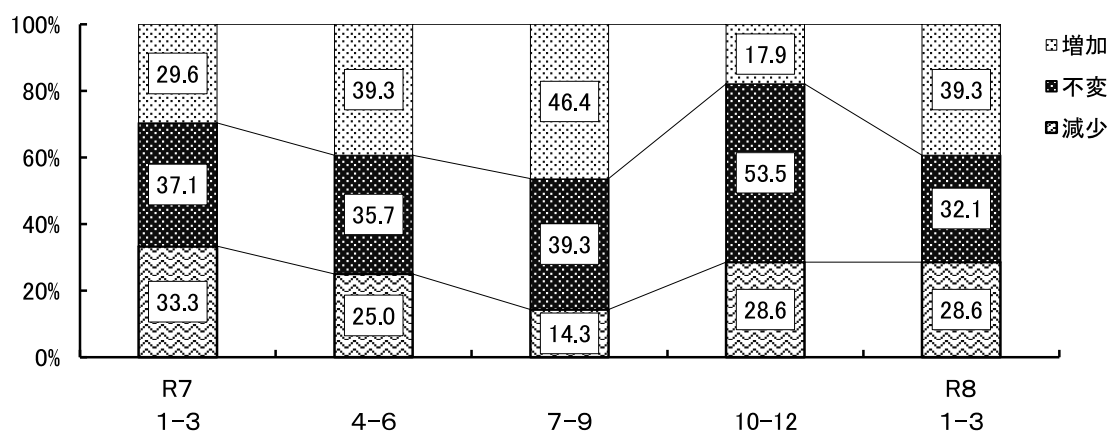


主要項目の天気図

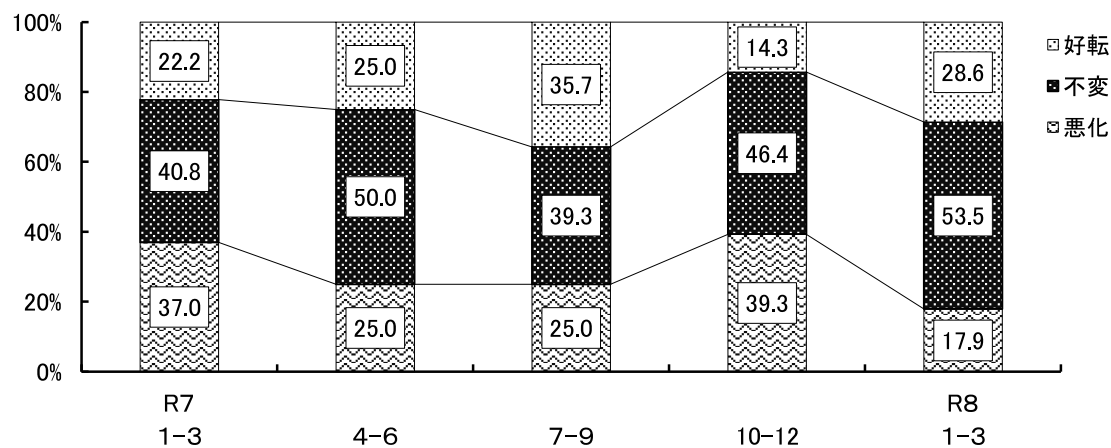
	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/4-6	14.3		0.0		△ 3.6		△ 4.3	
R7/7-9	32.1		10.7		3.8		3.2	
R7/10-12	△ 10.7		△ 25.0		3.6		△ 16.5	
R8/1-3	10.7		10.7		7.7		△ 1.1	
R8/4-6 (見通し)	25.0		14.3		3.7		13.0	

DI: 30.1~.....
 DI: 10.1~30.0.....
 DI: 10.0~△10.0...
 DI: △10.1~△30.0...
 DI: △30.1~.....

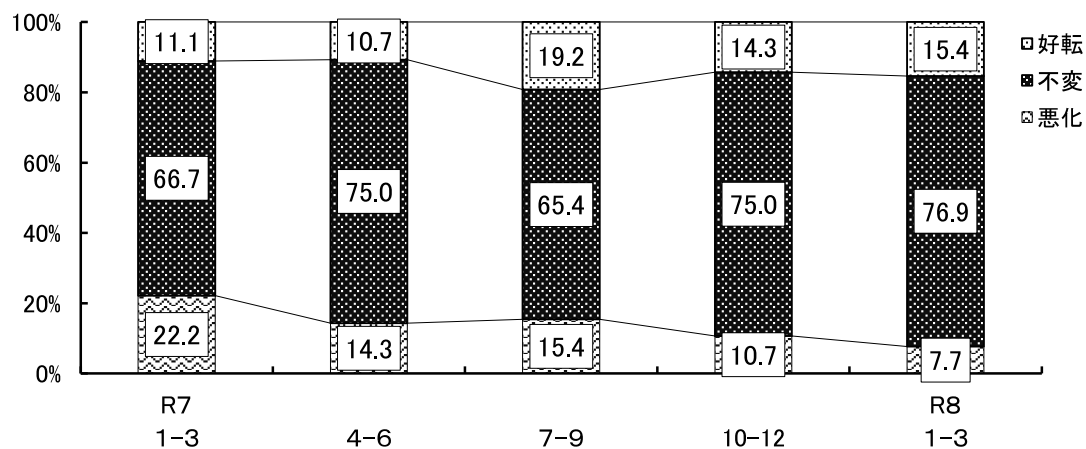
① 売上額の状況－前年同期比－



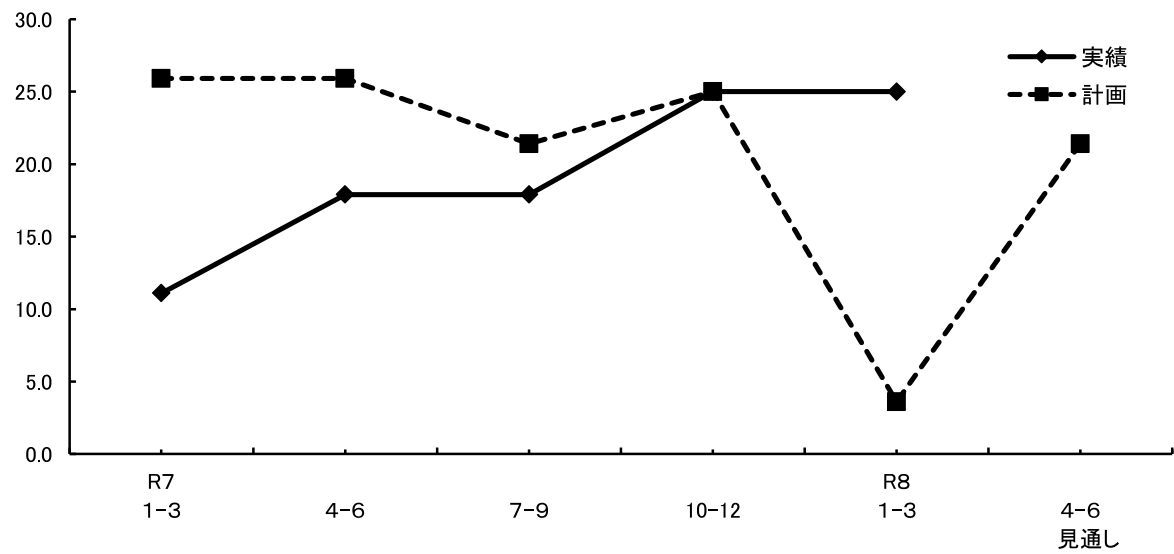
② 採算の状況－前年同期比－



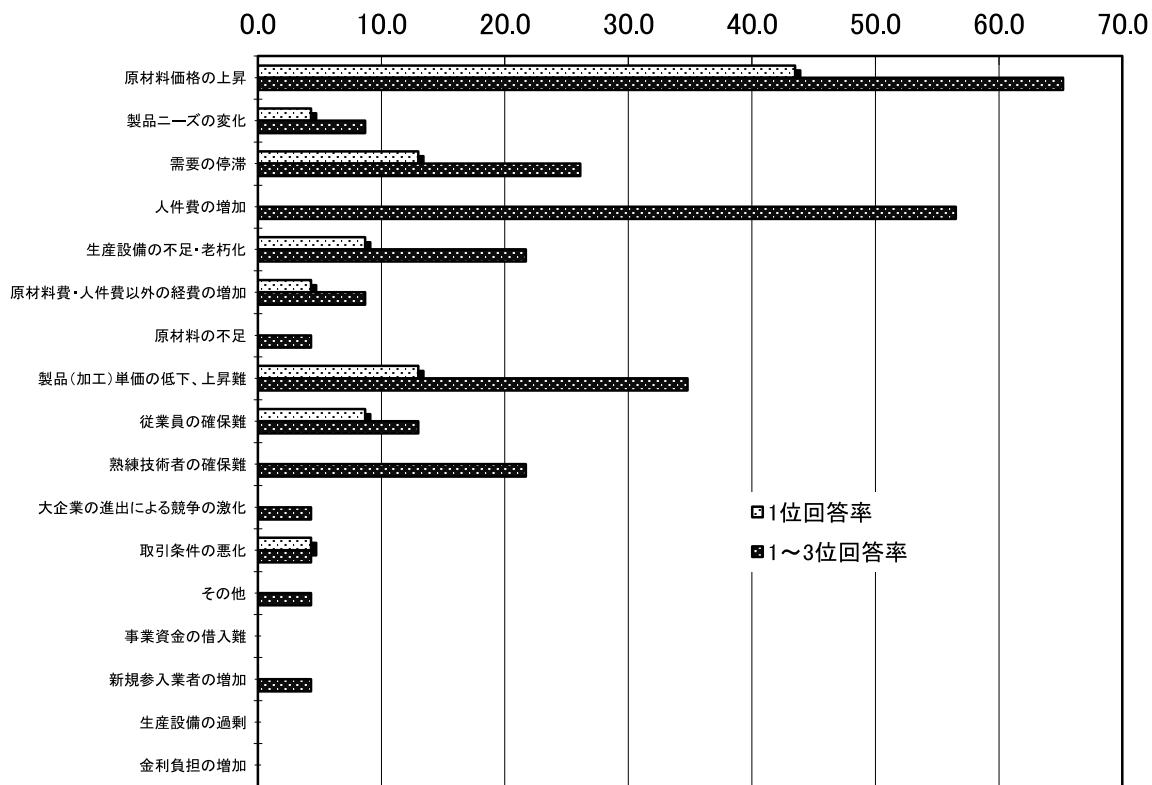
③ 資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

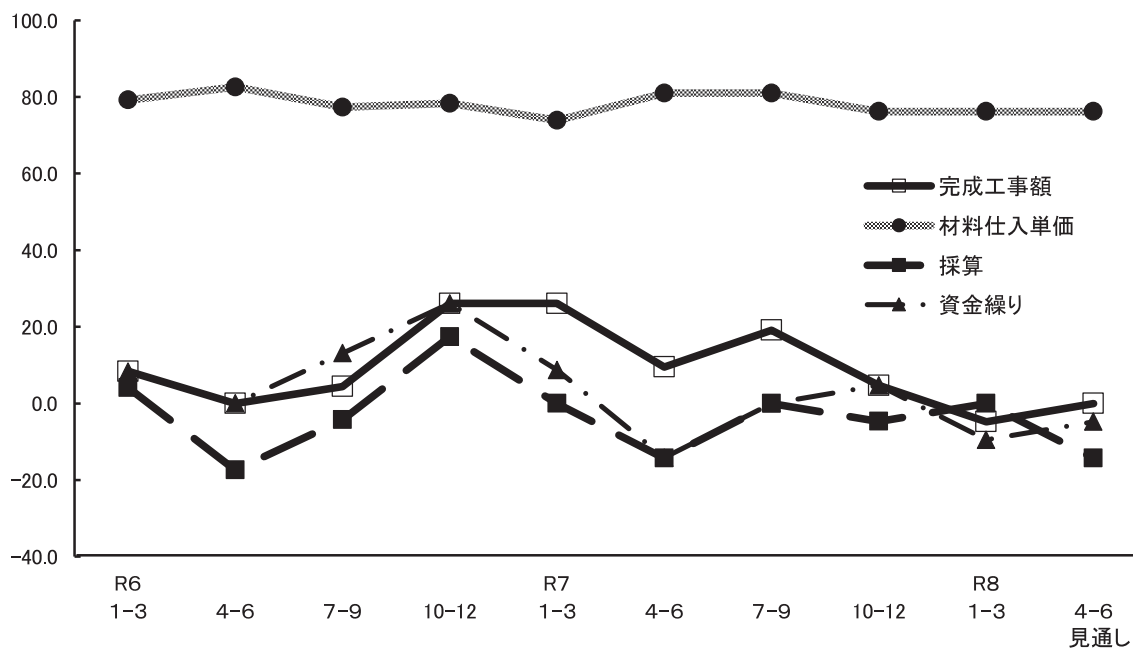


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。
経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



Ⅱ 建設業

主要景況項目の推移—前年同期比—

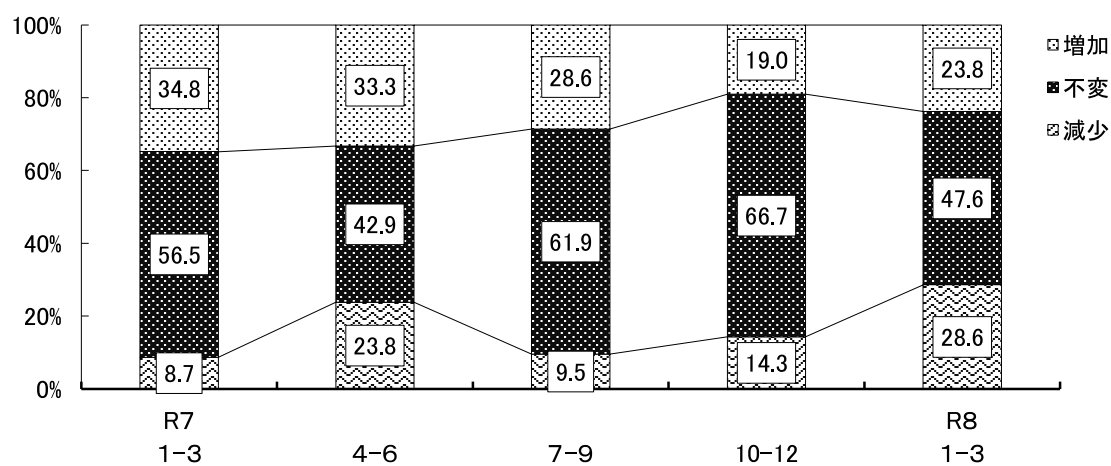


主要項目の天気図

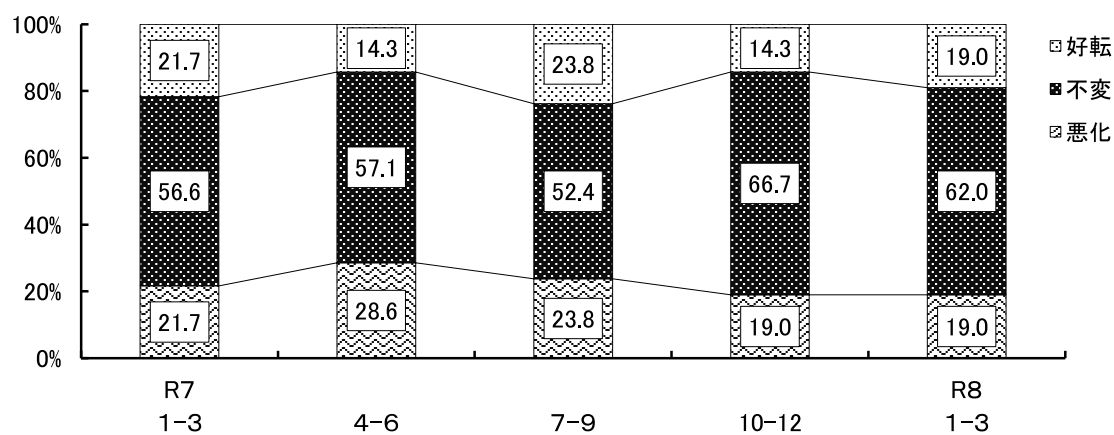
	完成工事額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/4-6	9.5		△ 14.3		△ 14.2		10.2	
R7/7-9	19.1		0.0		0.0		6.6	
R7/10-12	4.7		△ 4.7		4.7		△ 5.2	
R8/1-3	△ 4.8		0.0		△ 9.5		5.0	
R8/4-6 (見通し)	0.0		△ 14.3		△ 4.8		0.0	

DI: 30.1~.....
 DI: 10.1~30.0.....
 DI: 10.0~△10.0...
 DI: △10.1~△30.0...
 DI: △30.1~.....

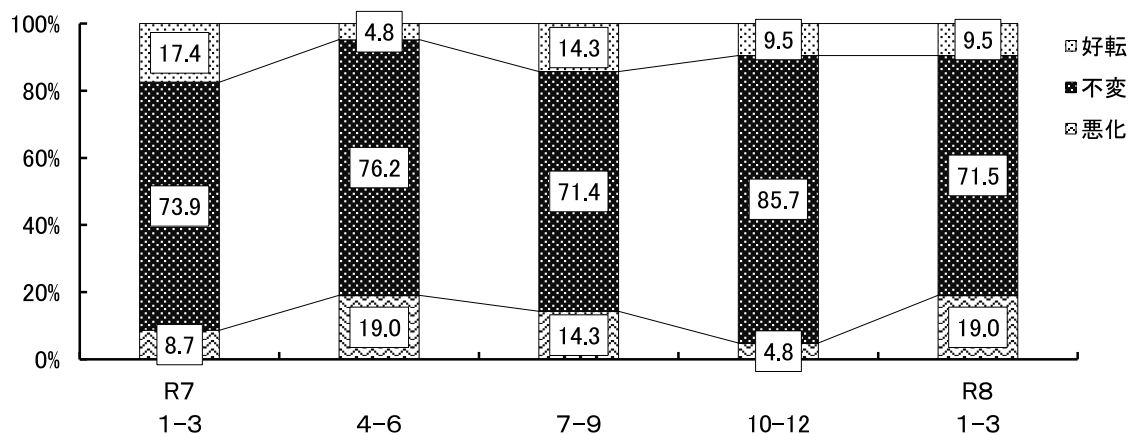
①完成工事額の状況－前年同期比－



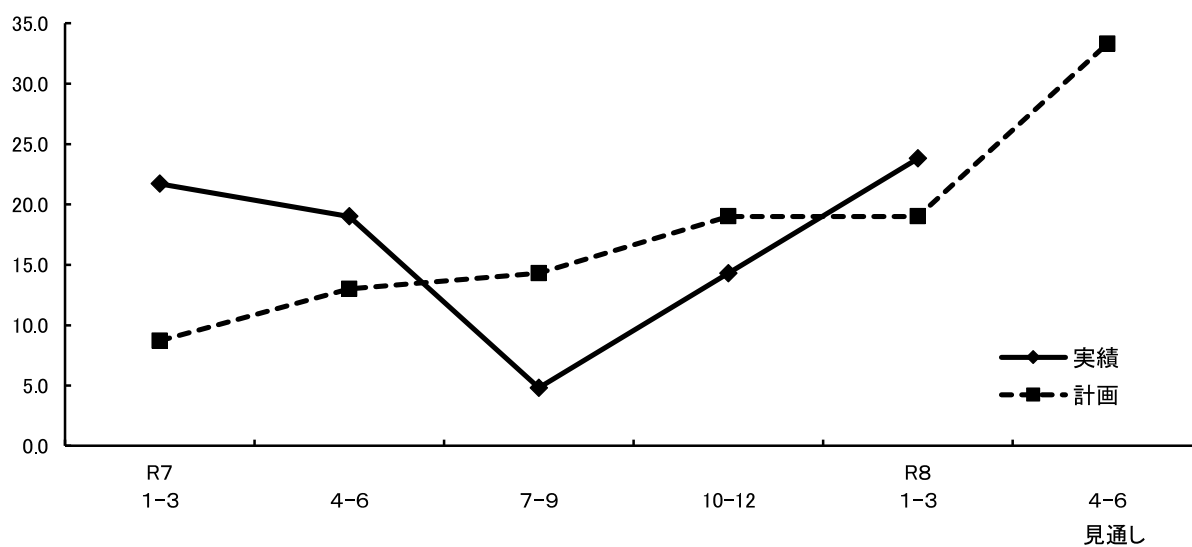
②採算の状況－前年同期比－



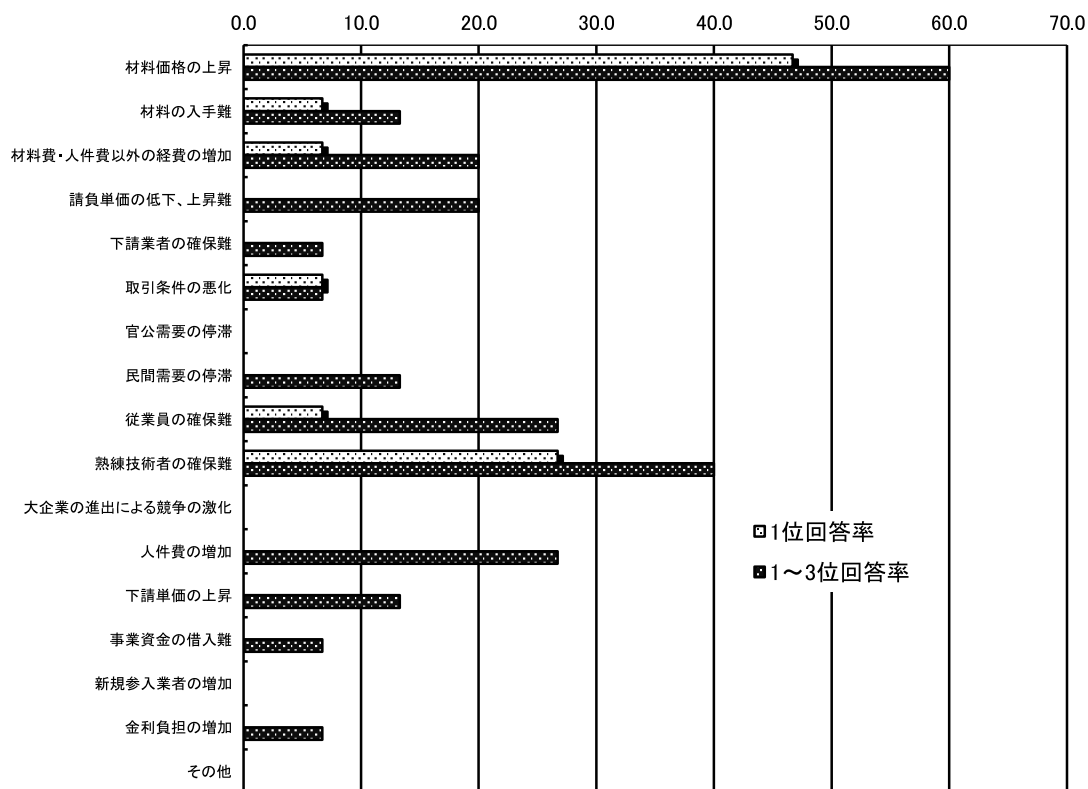
③ 資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

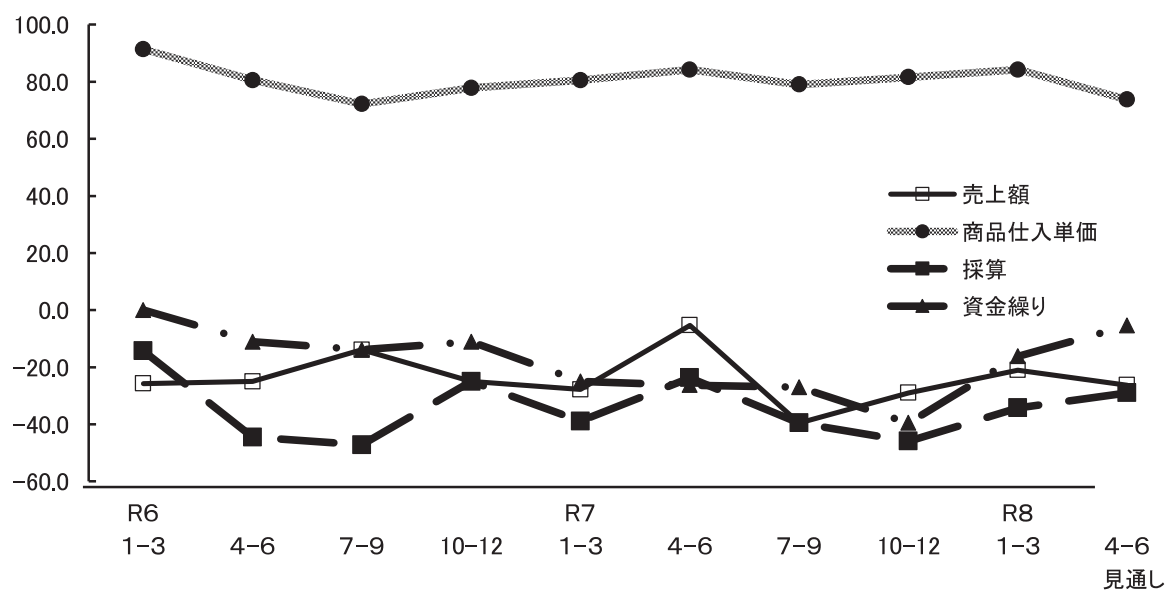


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



Ⅲ小売業

主要景況項目の推移—前年同期比—

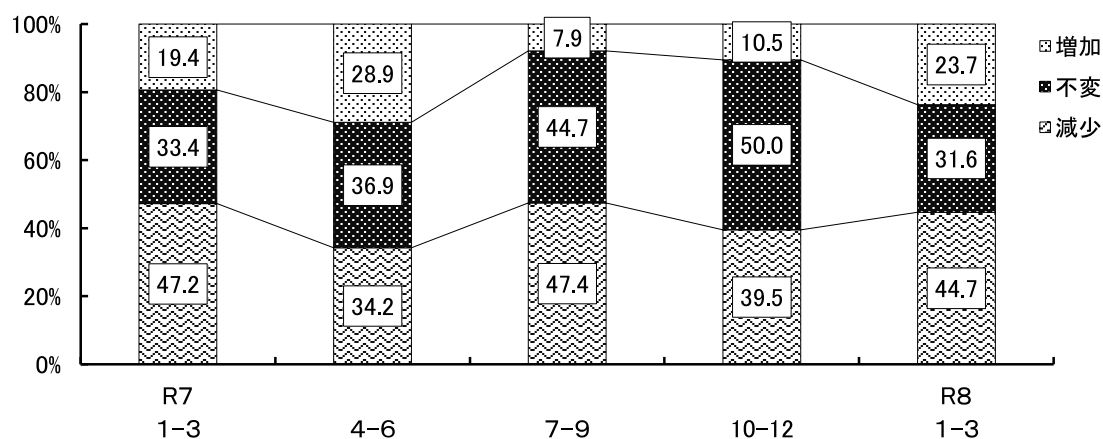


主要項目の天気図

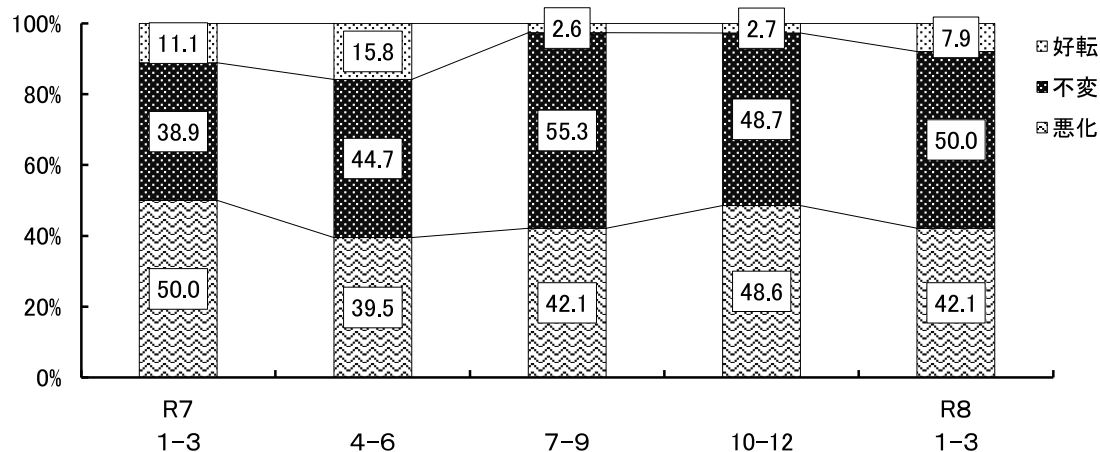
	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/4-6	△ 5.3		△ 23.7		△ 26.3		△ 19.8	
R7/7-9	△ 39.5		△ 39.5		△ 27.0		△ 25.5	
R7/10-12	△ 29.0		△ 45.9		△ 39.5		△ 31.1	
R8/1-3	△ 21.0		△ 34.2		△ 16.2		△ 6.6	
R8/4-6 (見通し)	△ 26.3		△ 29.0		△ 5.4		△ 6.6	

DI: 30.1~.....
 DI: 10.1~30.0.....
 DI: 10.0~△10.0...
 DI: △10.1~△30.0...
 DI: △30.1~.....

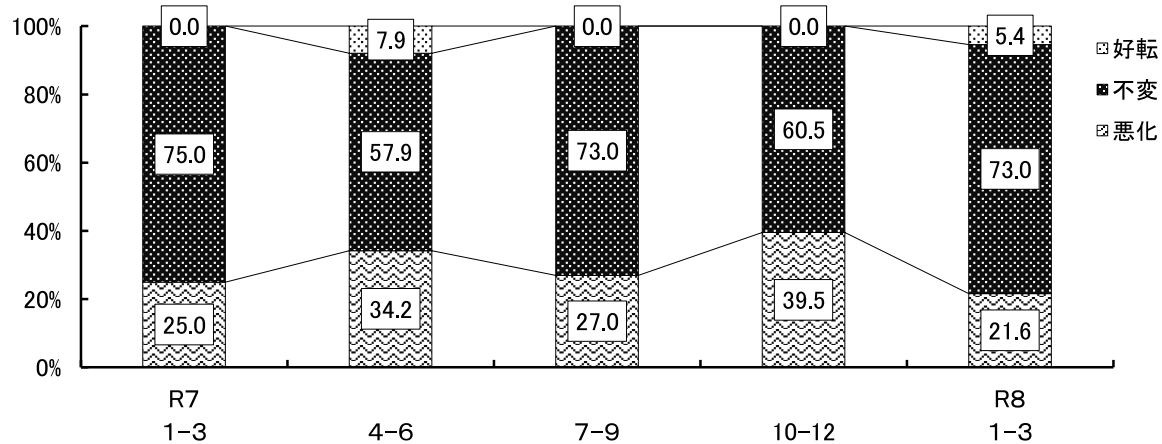
①売上額の状況－前年同期比－



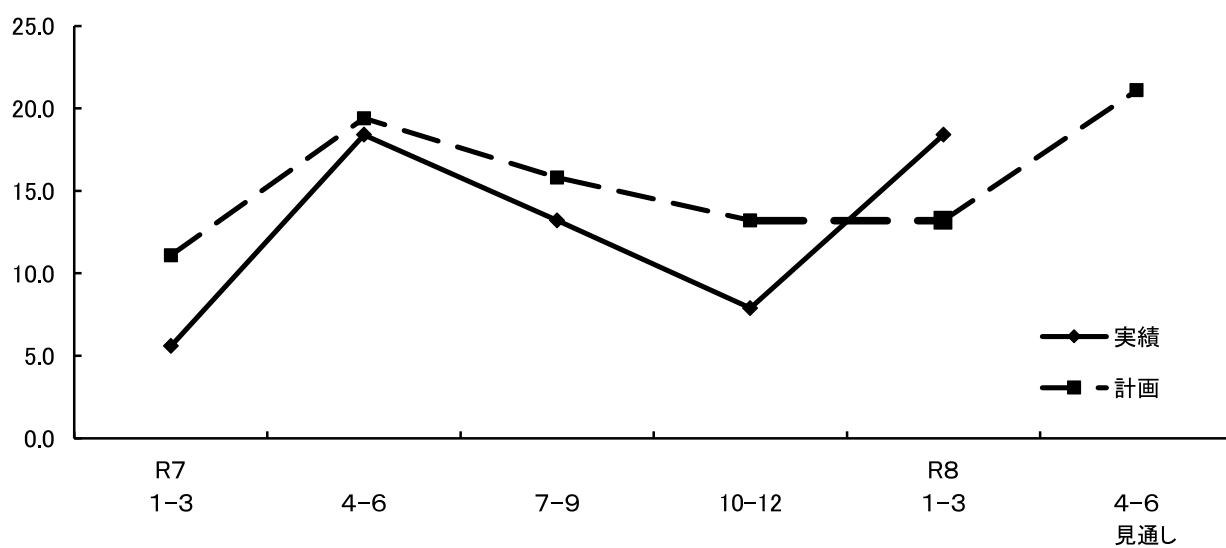
②採算の状況－前年同期比－



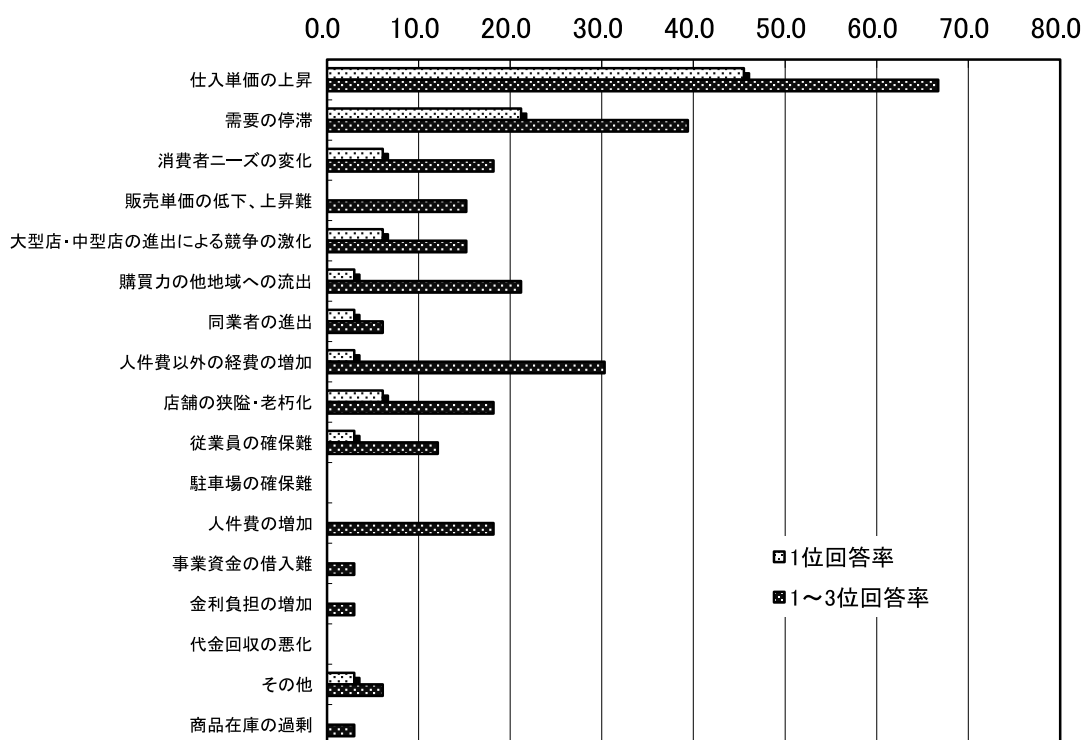
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

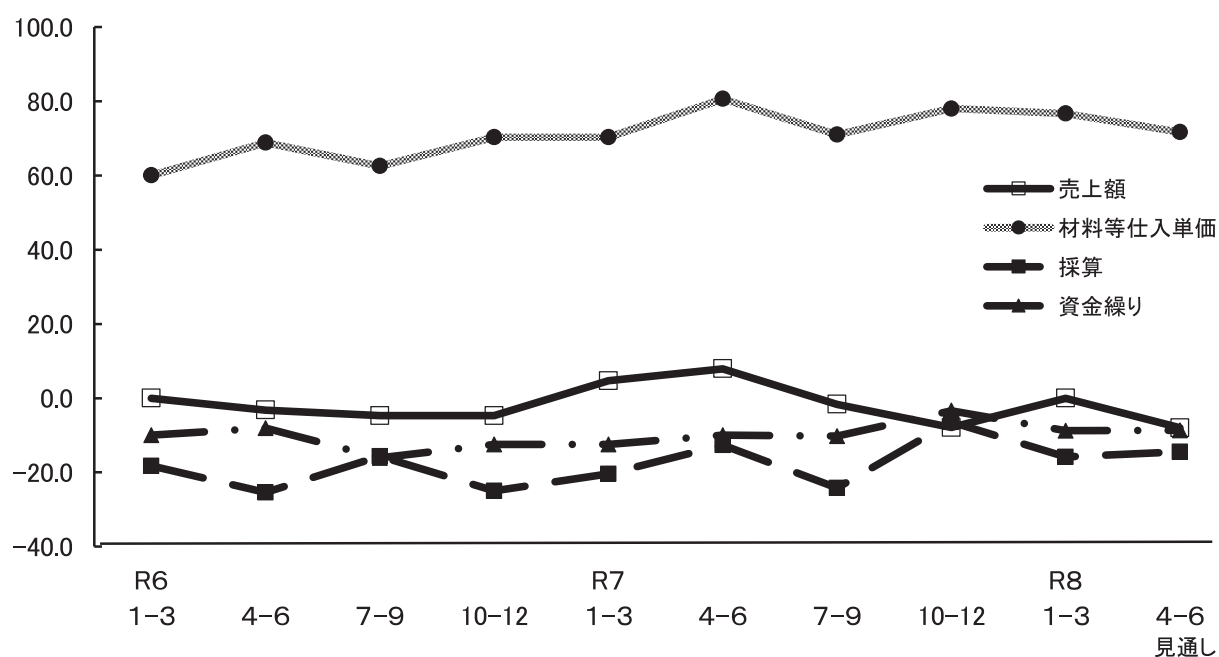


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



IVサービス業

主要景況項目の推移ー前年同期比ー

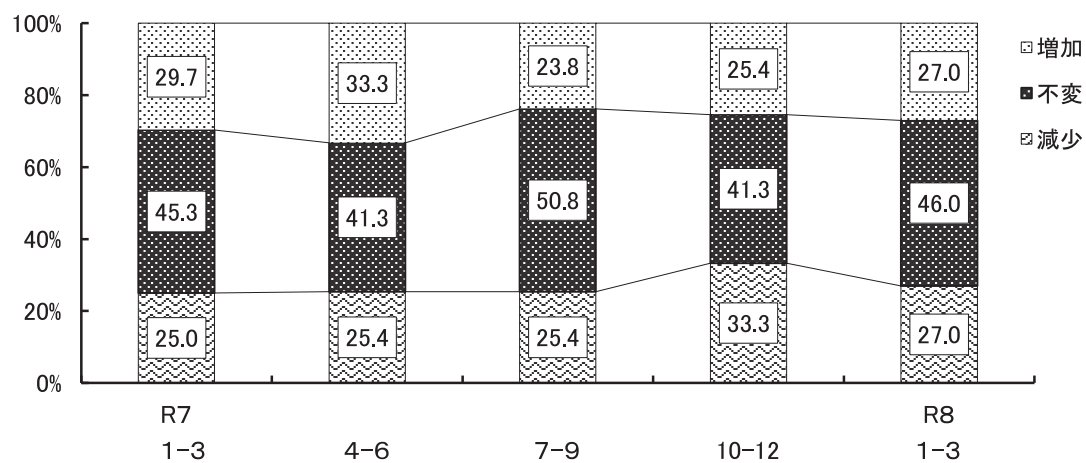


主要項目の天気図

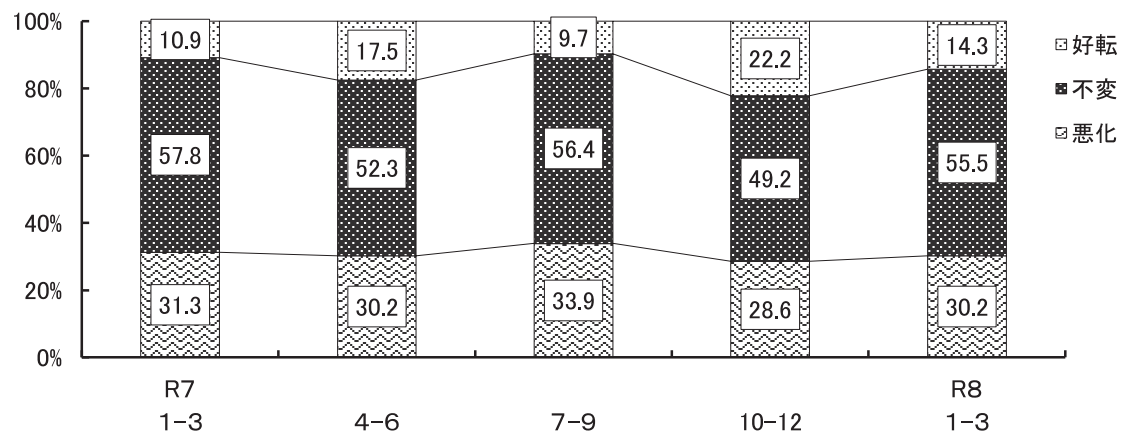
	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/4-6	7.9		△ 12.7		△ 10.0		17.2	
R7/7-9	△ 1.6		△ 24.2		△ 10.3		5.8	
R7/10-12	△ 7.9		△ 6.4		△ 3.4		0.6	
R8/1-3	0.0		△ 15.9		△ 8.8		7.2	
R8/4-6 (見通し)	△ 8.0		△ 14.5		△ 8.7		1.2	

DI: 30.1~.....
 DI: 10.1~30.0.....
 DI: 10.0~△10.0...
 DI: △10.1~△30.0
 DI: △30.1~.....

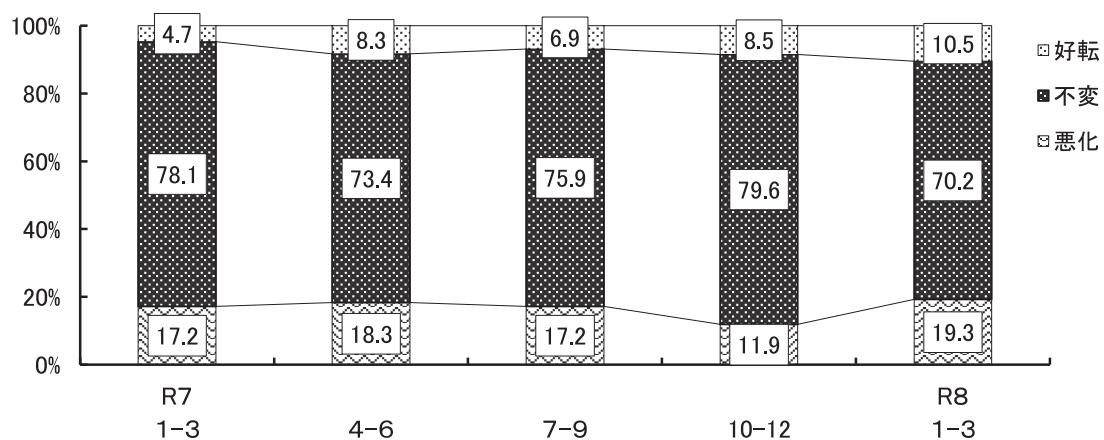
①売上額の状況－前年同期比－



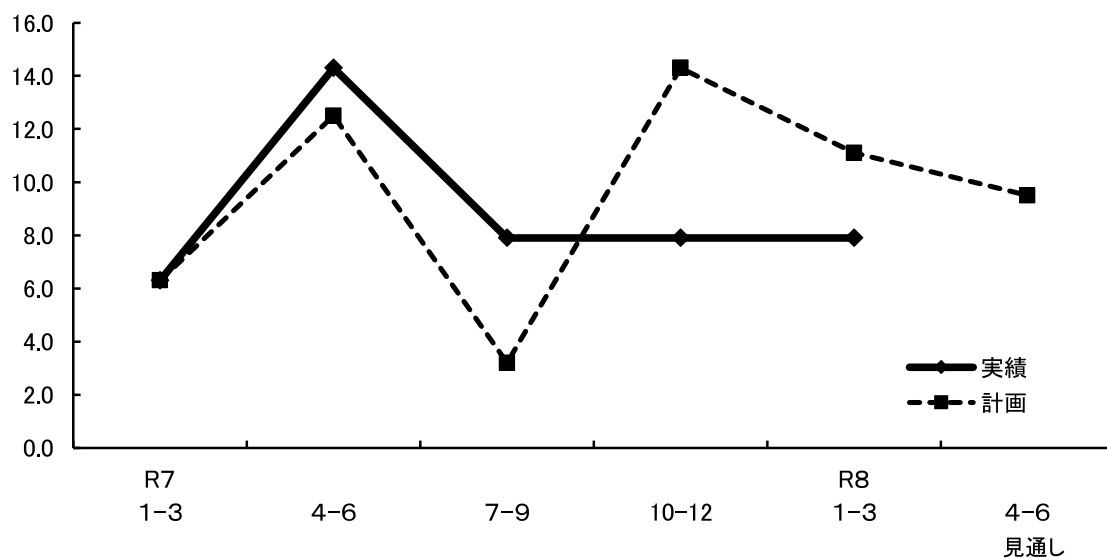
②採算の状況－前年同期比－



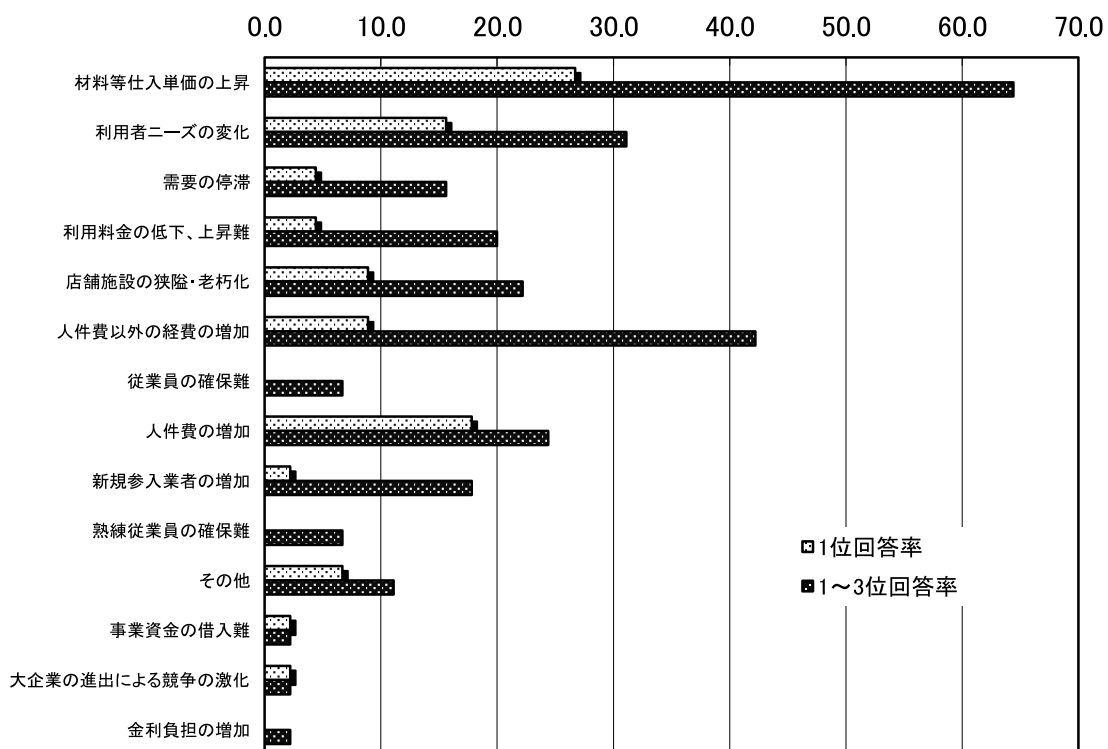
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況



⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



景況判断の背景

製造業

- ◇ 原材料価格、人件費、副資材費等の上昇が続き、やむを得ず商品価格改定をお願いしなければならない。
【木材・木製品製造業(家具を除く)】
- ◇ 海外戦略の大きい事業がまとまりつつあり、それに伴い適した人材が必要だが上手く対応できずにいる。中小企業における人材訴求の難しさを日々感じている。
【食料品製造業】
- ◇ 量の個人需要が年々落ち込む中、同業他社からの受注を増やしてきた。このたび導入した設備により、技術を要する量を多く製造できる環境が整い大型受注が受けられるようになり、例年同様の業況を保つことができた。
【その他の製造業】
- ◇ 来年度の見通しからいくつか話がまとまり上向きに転じる面もある。引き続きハンドレス化や省力化を図り注力する部分を見極めて事業を回していきたい。
【電子部品・デバイス・電子回路製造業】
- ◇ 原材料の高騰に合わせた単価の上昇がうまくできていない。相見積が多く仕事がうまく取れていない。大きい品物が増え場所が足りないことがある。
【金属製品製造業】
- ◇ 新規案件は継続してあるが、大口取引への拡大が難しい。
【パルプ・紙・紙加工品製造業】
- ◇ 単価は上げられるが、その上げ幅は思ったように上昇していない為、先行きが不安。(10%上げて欲しいところ2%程度)中東の情勢が不安定でその影響を気にしている。
【生産用機械器具製造業】
- ◇ 支払い条件をリスケジュールした結果、新規の借入れが難しく、常に資金繰りに苦慮している。
【窯業・土石製品製造業】

建設業

- ◇ 見積有効期限以降に工事が決まっても工事単価を変更できない。
【職別工事業(設備工事業を除く)】
- ◇ 熟練技能者の不足が深刻化しています。特に大工の人手不足は顕著です。建設業の課題に基づく要望としては建設業魅力アップ、職業訓練の充実、社員大工のメリットの拡大です。
【総合工事業】
- ◇ 昨年末に従業員が辞め自分ひとりになったため、受注を制限している。資材以外の価格高騰で全体的に圧迫されているため人件費がなくなったのは大きい。人件費以外はもともと削減しているので現状維持。
【総合工事業】
- ◇ 可もなく不可もなくといったところ。
【総合工事業】

小売業

- ◇ 物価は上昇、実質賃金があがらない中、年始の挨拶、成人式のお返しなど行事にお金をかけず、また嗜好品にまでお金が回らないように思われる。さらに原材料の高騰は続いている。
【飲食料品小売業】
- ◇ 仕入単価の上昇が続き利益を圧迫しています。
【その他の小売業】

◇ 昨年と比べると売り上げは微増ですが、仕入単価が上がっていて利益は変わりません。

【機械器具小売業】

◇ 人件費の増加、仕入単価の増加に対応した対策がしばらく必要と感じる。在庫の見直し、仕事の効率化に注視し、当面、人の採用は見送っていく。

【その他の小売業】

◇ 長期に渡り悪化傾向だが、各方面の方々からのお力添えで、少し良い方へ向かう感がある。

【飲食料品小売業】

◇ 需要の低迷、競争の激化、仕入価格上昇。

【その他の小売業】

◇ 新入学対象の需要が昨年より増加したため。

【織物・衣服・身の回り品小売業】

◇ 労働環境整備のために社員を雇い入れたが、資金の上昇により経営状況が悪化している。その結果、労働時間の短縮によって各給与の上昇が抑えられてしまい、従業員からは「体は楽になったが…」との声が上がっている。

【飲食料品小売業】

◇ 収支トントンでゆっくりと営業していくスタイルとしたため、仕入れ価格の上昇にも対応でき、業況は良くも悪くもなく、普通です。

【飲食料品小売業】

◇ 域内の自動車整備工場数が減少傾向にあり、それが当社にとってプラスに働いている。

【機械器具小売業】

◇ 景気の低迷もあり、お客様の1回の消費額が増えることなく、変わらないか減ってしまっており、また購入される点数も減っている状態である。

【飲食料品小売業】

◇ 利益は変わらないが、経費の金額や人件費の増加で会社の利益確保が難しい。

【各種商品小売業】

◇ 仕入単価が上がり続けているのが悩み。

【その他の小売業】

サービス業

◇ 仕入れ価格が全体的に上昇し商品も値上げしているため業況は悪くないが、これ以上上がるとさらなる値上げは難しく購入減少が懸念される。値上げしているため客単価は上昇も客数は減少傾向であると感じる。

【飲食料品小売業】

◇ 所得税、消費税などの経費(個人)に関する明るい話が増えて、定収入が増えてくれば、移動道具としての車(タイヤ)にもお金を使う方が増えると期待する。

【機械器具小売業】

◇ 売上げが下がってきているのに設備が老朽化していること

【その他の小売業】

◇ 物価上昇とお客様の高齢化などによる来店サイクルの伸びがある。利用回数の減少を感じる。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

◇ 客数は増えてきていますが食材の仕入れ値が上がっているので利益はそんなに増えていないです。

【飲食店】

◇ インフレの影響により、お客様の来店頻度が下がる方向にある。その分、売上に相当分の影響があると懸念している。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ さまざまな問題がありますが、材料費は上昇し続けています。食品の消費税が仮に0%になったとしても、外食産業にとっては厳しい状況であると思います。

【飲食店】

- ◇ 店舗が隠れ家的なところに移転したことにより、想定以上の利用客数減となった。不景気で、リピート率があがらず厳しい状態である。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 年始から持病で長期休業してしまった。自身(個人事業主)の稼動が経営に直結する厳しさや難しさを改めて実感した。長く事業を続けるための新たな方法を考えたい。

【その他の生活関連サービス業】

- ◇ 新事業は想定以上で顧客数も伸びたが収支は結局のところ自身でどれだけ動くかになってしまった。専門家相談を利用して現状と数字を踏まえた事業計画とアクションプランを作成しており無理なく事業を回して行きたい。

【その他の教育、学習支援業】

- ◇ 景気低迷・需要の停滞で自由診療収入が減ってきている。

【その他の生活関連サービス業】

- ◇ 仕入れ、物価の上昇で売り上げが上がっても利益がでない。

【飲食店】

- ◇ 私事で今期は休業することも多々あったが、今後は好転していけると思うし、好転していけるように努力していく。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ メニューの変更、仕入の見直しで何とか経営を保っている。人手不足は深刻で縮小営業をせざるを得ない状態で売上向上の策を考えても、実現できず我慢の経営を続けている。

【飲食店】

- ◇ 紹介により引き合いが増えて受注につながった。

【専門サービス業(他に分類されないもの)】

- ◇ 人件費や物品の値上げが限界にきており、値上げの検討をしている。特に人件費は10月に1500円に向け上昇することから価格へ今どれ位のせるか悩んでいる。

【飲食店】

- ◇ お客様は人につくので、従業員を増やしても、かならずしも利益は増えないと思う。そこにこの仕事のむずかしさがあると思う。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

